

第83回生命科学先端研究センター 学術セミナー

日時：平成25年5月10日（金）午後5時から

場所：杉谷キャンパス 附属病院2階 臨床講義室(1)

講師：絹谷清剛 先生（金沢大学医薬保健研究域医学系・教授）

演題：1. PETでなにがわかる？
2. 放射線と甲状腺

内容

<演題1>

Positron Emission Tomography (PET) が2002年に保険適用となって、すでに10年超が経過しました。PETと呼ばれるものは、多くの場合グルコース類似体であるFDGを用いた糖代謝PETを意味します。癌診療におけるFDG-PETの意義をお伝えいたします。

<演題2>

一昨年の福島第一原子力発電所事故により、環境中に放射性ヨウ素 ^{131}I の漏洩が発生しました。 ^{131}I は甲状腺疾患に対する内用療法に日常的に用いられています。臨床における経験に基づいて、この事故による影響をどのようにとらえるべきかということをお話いたします。

※本セミナーは大学院医学薬学教育部の単位認定の対象に、またセンター放射線業務従事者に対する教育訓練（再教育）の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先

庄司美樹（アイソトープ実験施設長）

電話：076-434-7190

メール：shojim@cts.u-toyama.ac.jp